

琉球大学学術リポジトリ

オオウスグロハラナガノメイガ (チョウ目, ツトガ科, ヒゲナガノメイガ亜科) の八重山諸島からの初記録

メタデータ	言語: ja 出版者: 琉球大学資料館 (風樹館) 公開日: 2024-05-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 和智, 仲是, 松井, 悠樹 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002020359



オオウスグロハラナガノメイガ (チョウ目, ツトガ科, ヒゲナガノメイガ亜科) の八重山諸島からの初記録

和智仲是^{1*}・松井悠樹^{2*}

¹ 〒907-1541 沖縄県八重山郡竹富町上原 870 琉球大学熱帯生物圏研究センター西表研究施設 (nwachi@lab.u-ryukyu.ac.jp)

² 〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡 744 九州大学大学院農学研究院昆虫学分野 (mothya22@gmail.com)

* 共同責任著者

要旨．オオウスグロハラナガノメイガ *Hymenoptychis sordida* Zeller, 1852 を西表島のマングローブで採集し、八重山諸島および西表島からの初記録として報告する．本種の日本での記録は、18 年前の沖縄本島のマングローブからの記録に次いで 2 例目である．

はじめに

日本に分布する *Hymenoptychis* 属の唯一の種であるオオウスグロハラナガノメイガ *Hymenoptychis sordida* Zeller, 1852 は、南アフリカの雄個体を基に記載され、アフリカ・マダガスカル・インド-オーストラリア・太平洋の島々に広く分布することが知られている (Hampson 1897; Murphy 1990; 山中 2005; Shaffer & Munroe 2007)．日本では 2004 年 7 月に沖縄本島で得られた 8 雄 1 雌に基づいて初めて記録されたのみで (山中 2005)、その後日本からの記録はない．なお、Murphy (1990) は、Hampson (1897) を引用した上で “The species is extremely wide spread, from East Africa to Japan and north to the Himalayan foothills” と記述したが、Hampson (1897) の本種の記述に日本の産地についての言及はない．今回、本種の日本における 18 年ぶり 2 例目の記録となる個体を八重山諸島西表島のマングローブ林から採集したので報告する．今回の標本は全て和智が採集、松井が同定し、琉球大学熱帯生物圏研究センター西表研究施設、及び九州大学農学部昆虫学教室に保管されている．成虫のサイズの指標として、右前翅長を計測した．

記録

Hymenoptychis sordida Zeller, 1852

オオウスグロハラナガノメイガ

図 1-3.

採集標本．1♂ (13.0 mm): 2022 年 7 月 27 日、沖

縄県八重山郡竹富町船浦 (船浦湾マングローブ林; 北緯 24.3987°, 東経 123.8094° 付近), 琉球大学保管; 1♀ (11.4 mm): 2022 年 8 月 11 日, 場所同じ, 琉球大学保管; 1♂ (12.5 mm): 2023 年 9 月 29 日, 場所同じ, 九州大学保管 (交尾器スライド番号 YM672); 2♂ (12.6 mm [右前翅の一部欠損のため, 左前翅], 図 1; 11.3 mm, 図 2): 2023 年 11 月 10 日, 場所同じ, 琉球大学保管; 1♂ (13.2 mm): 2023 年 11 月 24 日, 場所同じ, 琉球大学保管; 1♂ (14.0 mm): 2023 年 12 月 11 日, 場所同じ, 九州大学保管．

同定．今回得られた個体は全て、翅表が全体に黒褐色で斑紋が不明瞭であること、雄の腹部が極めて細長いこと、雄の前翅中室付近で鱗粉を欠くこと、雄の前翅表面の中室内に細長く窪んだひだ状の構造を持つこと (図 1)、雄交尾器の fibula [Hayden (2011); Mally et al. (2019) を参照] が 2 本の背側を向いた突起で構成されるこ



図 1. 西表島から確認されたオオウスグロハラナガノメイガ (背面). 2023 年 11 月 10 日に採集された雄 2 個体のうちの 1 個体 (もう 1 個体は図 2 に図示).

Fig. 1. Dorsal habitus of *Hymenoptychis sordida* Zeller, 1852 from Iriomote Island, Yaeyama Islands, Okinawa Prefecture. This male was collected on 10. xi. 2023.



図2. 発見時のオオウスグロハラナガノメイガ [by Nakatada Wachi (@wachinakatada); 2023; iNaturalist observation: <https://www.inaturalist.org/observations/190545294>; Accessed on 10. xi. 2023]. 2023年11月10日に採集された雄2個体のうちの1個体(もう1個体は図1に図示).

Fig. 2. *Hymenoptychis sordida* Zeller, 1852 in nature of Iriomote Island, Yaeyama Islands, Okinawa Prefecture [by Nakatada Wachi (@wachinakatada); 2023; iNaturalist observation: <https://www.inaturalist.org/observations/190545294>; Accessed on 10. xi. 2023]. This male was collected on 11. x. 2023.

と、雄交尾器の phallus の coecum penis はやや強く腹方に屈曲し、aedeagus の先端部は細くなること(図3)などの特徴が山中(2005)および Shaffer & Munroe(2007)が記載・図示した本種の形態と一致したことにより *H. sordida* に同定された。

分布. アフリカ、マダガスカル、セイシェル諸島、インド、スリランカ、ニコバル諸島、ミャンマー、マレー半島、シンガポール、フィリピン、日本(沖縄本島、西表島)、ボルネオ、スラウェシ、モルッカ諸島、ニューギニア、オーストラリア、フィジー諸島、マーシャル諸島、エリス諸島、サモア諸島(Hampson 1897; Murphy 1990; 山中 2005; Shaffer & Munroe 2007; 本報告)。

採集状況. 本報告で採集されたいずれの個体も、ヤエヤマヒルギ *Rhizophora stylosa* (ヒルギ科 Rhizophoraceae)、オヒルギ *Bruguiera*

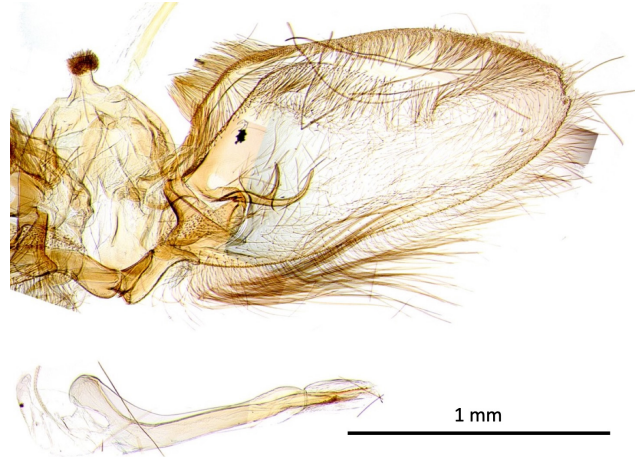


図3. 西表島で確認されたオオウスグロハラナガノメイガの雄交尾器(2023年9月29日採集, 交尾器スライド番号: YM672). Left valva と tuba analis は省略.

Fig. 3. Male genitalia of *Hymenoptychis sordida* Zeller, 1852 from Iriomote Island, Yaeyama Islands, Okinawa Prefecture, collected on 29. ix. 2023, genitalia slide no. YM672. Left valva and tuba analis are omitted.

gymnorhiza (ヒルギ科 Rhizophoraceae), ヒルギダマシ *Avicennia marina* (キツネノマゴ科 Acanthaceae), ヒルギモドキ *Lumnitzera racemosa* (シクンシ科 Combretaceae), シマシラキ *Excoecaria agallocha* (トウダイグサ科 Euphorbiaceae) などが生えるマングローブ林内で昼間飛翔しているところを発見, 採集された。今回の個体が採集された地点付近では、本種の他にウスグロハラナガノメイガ *Tatobotys janapalis* (Walker, 1859), キオビハラナガノメイガ *T. aurantialis* Hampson, 1897 が見られた。オオウスグロハラナガノメイガの幼虫は、シンガポールとインドではマングローブ林床の落ち葉などの腐植物や藻類だけでなく、ヒルギダマシ属 *Avicennia* の落ちた果実、サキシマスオウノキ *Heritiera littoralis* (アオイ科 Malvaceae) やニリスハウガン *Carapa moluccensis* (センダン科 Meliaceae) の種子を餌とすることが知られている(Murphy 1990; Robinson et al. 2023)。しかしながら、日本において幼虫の生活史が観察されたことはなく更なる観察が必要である。

謝辞

本報告は、環境省、(独)環境再生保全機構の環境研究総合推進費(JPMEERF20224001)に係る調査で得られた知見である。また、iNaturalistの投稿に科までの同定結果を提供して下さった Takaaki Hattori 氏 (@genjitsu) 及び種同定の提案をして下さった T ね氏 (@tne-omm) に厚くお礼申し上げる。さらに、本原稿の改訂にあたり、有益なご助言を頂いた吉安裕博士および匿名の

査読者の方にもお礼申し上げます。

引用文献

- Hampson, G.F., 1897. VII. On the classification on two subfamilies of moths of the family Pyralidae: the Hydrocampinae and Scoparianae. Transactions of the Entomological Society of London, 45: 127–240.
- Hayden, J.E., 2011. Systematics of the European pepper moth, *Duponchelia* Zeller (Lepidoptera: Crambidae: Spilomelinae). Conference poster. https://www.researchgate.net/publication/267527311_Systematics_of_the_European_pepper_moth_Duponchelia_Zeller_Lepidoptera_Crambidae_Spilomelinae [Accessed on 22. xii. 2023]
- Mally, R., J.E. Hayden, C. Neinhuis, B.H. Jordal & M. Nuss, 2019. The phylogenetic systematics of Spilomelinae and Pyraustinae (Lepidoptera: Pyraloidea: Crambidae) inferred from DNA and morphology. Arthropod Systematics and Phylogeny, 77: 141–204.
- Murphy, D.H., 1990. The natural history of insect herbivory on mangrove trees in and near Singapore. Raffles Bulletin of Zoology, 38: 119–203.
- Robinson, G.S., P.R. Ackery, I. Kitching, G.W. Beccaloni & L.M. Hernández 2023. HOSTS (from HOSTS - a Database of the World's Lepidopteran Hostplants) [Data set resource]. Natural History Museum. <https://data.nhm.ac.uk/dataset/hosts/resource/877f387a-36a3-486c-a0c1-b8d5fb69f85a> [Accessed on 15. xi. 2023]
- Shaffer J.C. & E. Munroe, 2007. Crambidae of Aldabra Atoll (Lepidoptera: Pyraloidea). Tropical Lepidoptera, 14: 1–114.
- 山中 浩, 2005. 沖縄本島で発見された日本未記録のノメイガ. 蛾類通信, 234: 155–157.

A new distributional record of *Hymenoptychis sordida* Zeller, 1852 (Lepidoptera, Crambidae, Spilomelinae) from the Yaeyama Islands, Okinawa Prefecture, Japan.

Nakatada Wachi¹* & Yuki Matsui²*

¹Iriomote Station, Tropical Biosphere Research Center, University of the Ryukyus, 870 Uehara, Taketomi, Yaeyama, Okinawa 907-1541, Japan, (nwachi@lab.u-ryukyu.ac.jp)

²Entomological Laboratory, Faculty of agriculture,

Kyushu University, 744 Motooka, Nishi-ku, Fukuoka 819-0395, Japan (mothya22@gmail.com)

*Co-corresponding author

Abstract. *Hymenoptychis sordida* Zeller, 1852 (Lepidoptera, Crambidae, Spilomelinae) was collected from mangroves of Iriomotejima Island and is reported here as the first record from the Yaeyama Islands as well as the island. This is the second record of this species in Japan, following the first record from mangroves of Okinawajima Island 18 years ago.

投稿日: 2024年1月15日

受理日: 2024年4月5日

発行日: 2024年5月4日